

各部会における主な調査審議事項及び意見について

【総合部会】

■主な調査審議事項

- 県民意見等の把握
- 時代の潮流と茨城の特性
- いばらきの目指す姿（基本理念，目標と将来像）
- 政策展開の基本方向
- 生活大県プロジェクト
- 地域づくりの基本方向
- 人口・経済フレームの考え方

等

■主な意見

- 目指すべき将来像や四半世紀後を展望したビジョンを策定することが重要。
- 生活の重視や量から質への転換といったことを計画の基本に据えるべき。
- 夢や希望があるような基本構想を示すことが重要。
- いばらきモデルのような，茨城だからできるものを打ち出すべき。
- 県づくりの主役は県民であり，県民が取り組む様々な貢献のあり方を考えていくことが必要。

【専門部会】

■主な調査審議事項

- 県民意見等の把握
- 時代の潮流と茨城の特性
- 各分野における現状と課題
- 政策展開の基本方向
- 生活大県プロジェクト

等

■主な意見

【住みよいいばらきづくり専門部会】

- 全国的に見ても医師数が少ない中、医療資源の有効活用や情報の共有による医療機関の連携強化、福祉の人材育成や待遇改善等を真剣に検討すべき。
- 結婚や家族形態の多様化に対応した少子化対策が重要であり、若者の結婚・子育てについては意識向上にむけて積極的な働きかけが必要。出会いも日常の場で出会える環境作りが必要。
- 温室効果ガスの排出削減が求められる中、将来の姿を見据えた施策が必要。
- 地震災害の発生する確率が高い県南地域における長期的な視点からの災害対策やゲリラ豪雨、土石流、熱中症等への対応も必要。
- グローバル化に対応した外国人にフレンドリーな社会づくりが必要。
- 環境問題に対応する中で創出される新産業の活力を、住みよい社会づくりにつなげるようなビジョンが必要。

【人が輝くいばらきづくり専門部会】

- 家庭の教育力の向上を含め、子ども達の基礎力を向上させる取組が必要。
- 子どもを育てやすい環境や仕組みをつくる必要がある。
- 女性、青少年、高齢者、障害者、外国人の働く場の確保や支援の仕組みをつくる必要がある。
- コミュニティを活性化させる取組が必要。
- 国際化に対応する教育や文化活動を充実させる必要がある。
- 持続可能な社会の構築を目指す総合的な取組が必要。
- 科学技術創造立国を担う総合的な取組が必要。

【活力あるいばらきづくり専門部会】

- 成長著しい東アジア地域など海外を意識した施策展開が重要。
- 日本の持っている優れた技術を広い範囲でどのように社会システム化し、定着させていくかといった新しい形のイノベーションの視点が重要。
- 次世代自動車や環境・新エネ、健康・医療器機などの成長産業を育成していく必要がある。
- 加工・流通・販売も含めた農業の六次産業化が必要。
- 茨城であること自体が魅力となるブランディングやイメージアップが必要。
- 歴史・伝統・文化を活かした魅力ある地域づくりが必要。
- ソーシャルビジネスや社会起業家の育成・支援が重要。